

ワールドワイド携帯電話四半期動向

2016年11月14日報告

■ 2016年3Qの世界の携帯電話市場概況 ■

2016年3Qの端末販売状況

7-9月期のフィーチャーフォンを含む全端末販売台数は前年同期水準を下回ったものの、前期を上回った。

3Qは堅調な市場推移を辿ったが、Smartphone分野における中国メーカーの市場拡大に伴い、グローバルメーカーの中には撤退/縮小や事業形態の変更に追い込まれるメーカーも出てきた。

3QでMicrosoftからのLumiaモデルの投入はなく、事実上のSmartphone市場撤退の意思表示とみられる。Blackberryも社員の強い要望で自社生産を堅持していたが、期中でODMへの生産体制移行を表明し自社生産の断念に追い込まれた。2016年に入り急成長した中国LeEcoはここにきて資金ショート問題が急浮上し、Smartphoneは供給調整に入る公算が高くなった。同社CEOは11月6日の社員向けメールで複数の事業で問題が発生したことを明らかにし、今後在任中はCEOの年間給与1元に引き下げるとしている。LeEcoは6月にCoolpadに11%の追加出資を行い全株式出資の29%を占め筆頭株主になり、LeEcoとCoolpadデュアルブランド戦略で臨むと表明した矢先であった。8月に上梓したCoolpadブランドCool 1 Dualスタンダードモデルは1,099円でスタートしたが、現在販売価格は899元まで下落している。

Smartphone部品分野ではIntelがSmartphone向けチップセットAtomの開発終了と市場撤退を発表した。2016年4月から始まった不採算部門の整理とリストラ政策の一環になる。尚モデムについては供給を継続する意向である。

3QのSmartphone販売は総じて安定した伸びになった。前期比10%以上伸長した有力メーカーはApple、ソニーモバイル、HTCとOPPO、Vivo、Lenovo、TCL、Meizuの中国メーカーになる。一方前期を下回ったメーカーはSamsung、LGの韓国メーカーでSamsungは下半期フラグシップモデルGalaxy Note 7の発火事故問題、LGは牽引役を期待したモジュラータイプG5の失速が3Q販売にダメージを与えた。

3Qで最も注目を浴びたのはOPPO、Vivoの躍進で前期に続き販売台数を大きく伸ばした。

中国国内ではHuaweiを抜いてOPPOが初めてトップシェアを奪い、2015年3Qから国内Smartphone市場をリードしていたHuaweiはOPPOにトップの座を譲った。

中国メーカーは中国国内のほかインドを中心とした南アジア圏で攻勢を強めており、国内の鈍化を海外分でカバーする仕組みが実を結びつつある。Huawei、Xiaomiとも中国向けの停滞を海外分での販売増で補い、3Q販売台数の前期割れを防いだ。

中国メーカーの果敢な展開の恩恵を受けたのは中国メーカーにチップセットを供給するMediatek

で3Q売り上げは前期に次いで四半期過去最高の売り上げを更新した。

現在中国メーカーの懸念材料は部品調達問題になり、各社下半期にミッドエンドにマーケティング戦略を集中したため、高容量指向からメモリ、高精細化から一部ディスプレイ、カメラ部品で需給が逼迫し、一部メーカーによる部品過剰発注もタイト感を一層強めている。

3QのSmartphoneリリース状況ではAppleがiPhone 7、iPhone 7 Plusを9月に発売、Samsungも下期フラグシップGalaxy Note 7を7月に販売をスタートさせた。Galaxy Note 7は10月に全面販売停止と、生産中止を決定、上半期フラグシップGalaxy 7とGalaxy 7 EDGEの再増産の対応措置を取った。

Huaweiはハイエンドのリリースを4Qに持ち越し、同社のプレミアムモデルMate 9を11月に発売を開始した。

10-12月の出荷、販売見通し

4Qは季節需要から端末販売需要は前期比13%増を見込んだ。欧米ではクリスマス需要、最大需要国中国、インドではイベントが目白押しの四半期になる。中国では国慶節、双十一、インドでは10月、11月にナヴラートリ (Navratras) を皮切りに11月初めのディーワリ (Diwali) まで欧米のクリスマスセールに似たイベントが実施される。

中国の11月11日の独身の日でオンラインモール最大手の阿里巴巴は1日で1,207億円の売り上げを記録、前年を上回る過去最高の売上金額を達成した。天猫の571億元を含め主要オンラインサイト合計では2,000億元を突破した。Xiaomiは天猫でRedmi 4Aを1日で100万台以上の受注を獲得した。

4Qの新モデルリリース予定況

グローバルメーカー

Blackberry	DTEK60(Android)	2016年11月
LG	V20	2016年10月
Samsung	Galaxy On7 Pro (2016)	2016年10月
Samsung	Galaxy On8	2016年10月
Samsung	Galaxy C9 Pro	2016年11月
ソニー	Xperia XZ	2016年10月
ソニー	X Compact	2016年10月

中国メーカー

Huawei	Honor 6x(2016)	2016年10月
Huawei	Mate 9	2016年11月
LeEco	Le Pro3	2016年10月
LeEco	Le S3	2016年11月
Lenovo	Moto Z	2016年10月
Lenovo	K6	2016年11月
Lenovo	K6 Note	2016年11月
Lenovo	Phab2 Pro	2016年11月
Meizu	Pro 6s	2016年11月
OPPO	R9s	2016年10月
OPPO	R9s Plus	2016年12月
Xiaomi	Mi Note 2	2016年11月
Xiaomi	Mi MIX	2016年11月
ZTE	Axon 7 Minii	2016年10月
ZTE	ZTE Axon 7 Max	2016年11月

2016年3Q(7-9月)調査結果 目次

1	2016年3Q(2016年7-9月)の端末販売の概況	4	7.2.	Xiaomi	28
2	10-12月の出荷、販売見通し	7	7.3.	OPPO	29
3	2016年3Qの端末販売動向	8	7.4.	Vivo	30
4	2016年3Qのメーカーの動向	9	7.5.	Lenovo	30
4.1.	グローバルメーカー / Samsung Galaxy Note 7発火問題が業績に打撃	9	7.6.	LeEco	32
4.2.	新興メーカー / OPPO, Vivoが躍進、Lenovoは回復基調に	9	7.7.	その他中国メーカー ZTE、Meizu	33
4.3.	中国メーカーは部品調達が逼迫、インドは新税制体系に期待	11	7.8.	Mediatekの3Qは四半期過去最高の売上を前期に続き更新	34
5	端末販売台数推移(データ編)	12	8	端末各社の出荷計画	35
5.1.	四半期別全端末の販売台数推移	12	9	2016年3Qのセルラー加入状況	36
5.2.	全端末の年間販売台数推移	13	10	地域別累積加入推移(四半期別)	36
5.3.	四半期別Smart Phoneの販売台数推移	14	11	方式別加入推移(四半期別)	39
5.4.	Smart Phoneの年間販売台数推移	15	12	年間加入推移	42
5.5.	四半期別フィーチャーフォンの販売台数推移	16	12.1.	地域別	42
5.6.	フィーチャーフォンの年間販売台数推移	17	12.2.	方式別	43
6	グローバルメーカーの2016年3Q動向	18	13	主要オペレータ加入者推移	44
6.1.	Samsung	18	13.1.	アジア	44
6.2.	Apple	20	13.2.	西欧	45
6.3.	LG	22	13.3.	東欧	46
6.4.	ソニーモバイル	24	13.4.	北米	47
6.5.	HTC	25	13.5.	中南米	48
6.6.	その他のグローバルメーカー	26	13.6.	中東/アフリカ(アフリカ)	49
7	中国メーカーの2016年3Q動向	27	13.7.	主要オペレータ加入者数推移の世界全体に占める推定比率	50
7.1.	Huawei	27			